



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 山陽電気鉄道株式会社
 コード番号 9052 URL <http://www.sanyo-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上門 一裕
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 水谷 大輔 TEL 078-612-2032
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,380	△18.1	528	△84.9	751	△79.1	455	△81.5
2020年3月期第3四半期	37,080	△2.4	3,505	12.1	3,589	13.3	2,458	15.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 766百万円 (△72.0%) 2020年3月期第3四半期 2,735百万円 (79.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	20.50	-
2020年3月期第3四半期	110.66	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	97,931	41,955	41.8
2020年3月期	98,435	41,524	41.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 40,902百万円 2020年3月期 40,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	15.00	-	15.00	30.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,114	△16.5	563	△86.4	710	△83.1	251	△91.3	11.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	22,330,598株	2020年3月期	22,330,598株
2021年3月期3Q	110,148株	2020年3月期	109,461株
2021年3月期3Q	22,220,874株	2020年3月期3Q	22,221,706株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により全国的に社会経済活動が制限されるなか、政府主導の各種経済浮揚策により持ち直しの動きがみられたものの、全体として景気は極めて厳しい状況からの脱却ができないままに推移しました。

このような情勢において、運輸業では外出自粛により旅客が大幅に減少したほか、流通業では緊急事態宣言発出に伴う臨時休業等で影響を大きく受けるなかで、各種感染防止策を講じつつ、厳しい環境下においての事業運営となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益は30,380百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ6,700百万円(18.1%)の減収となり、営業利益は528百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ2,977百万円(84.9%)の減益、経常利益は751百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ2,838百万円(79.1%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は455百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ2,003百万円(81.5%)の減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりとなります。

①運輸業

鉄道事業におきましては、沿線での行楽イベントの中止に加えて、外出自粛や猛暑による出控えもあり、定期外旅客が大きく減少したほか、沿線企業での在宅勤務や上半期における沿線学校の臨時休校が影響し、定期旅客も大きく減少したことから減収となりました。

また、バス事業におきましても、神戸市バス一部路線の運行・車両整備およびその管理等を2020年11月から受託するといった新たな取組みを開始しましたが、外出自粛による一般乗合路線の旅客減少や観光貸切の稼働率低下に加え、トラストツアーの募集・催行中止や高速バスの一部路線の運休などにより減収となりました。

運輸業全体では、外部顧客に対する営業収益は11,464百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ3,532百万円(23.6%)の減収となり、営業損失は1,174百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ2,891百万円(前年同期営業利益は1,717百万円)の減益となりました。

②流通業

百貨店業におきましては、「柿安ダイニング」や「ミッシェルクラン」などの新規店舗の導入や、下半期に入り「大佛師 松本明慶 佛像彫刻展」をはじめとする話題性のある美術・宝飾催事を開催したことにより売上確保に努めたものの、緊急事態宣言の発出に伴い、2020年4月8日から5月15日まで食料品売場を除くすべての売場を臨時休業したことや上半期に集客催事を中止した影響が大きく減収となりました。

また、コンビニエンスストア業におきましても、「ローソン+フレンズ」の一部店舗の閉店などにより減収となりました。

流通業全体では、外部顧客に対する営業収益は12,127百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ4,058百万円(25.1%)の減収となり、営業損失は127百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ349百万円(前年同期営業利益は221百万円)の減益となりました。

③不動産業

分譲事業におきまして、大阪府守口市での「レジデンス大日ステーションプレミア」の引渡しなど、前年同期に比べ分譲規模が大きくなったことにより増収となりました。

不動産業全体では、外部顧客に対する営業収益は4,393百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ995百万円(29.3%)の増収となり、営業利益は1,671百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ292百万円(21.2%)の増益となりました。

④レジャー・サービス業

スポーツ業におきまして、「サン神戸ゴルフガーデン」で来場者が増加したほか、飲食業では、テイクアウト需要が拡大したケンタッキー・フライド・チキンの各店舗や2020年1月にオープンした「マネケン山陽明石駅店」の売上が好調に推移したものの、舞子ホテルが2019年末より休業したことなどから減収となりました。

レジャー・サービス業全体では、外部顧客に対する営業収益は1,354百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ123百万円(8.4%)の減収となりましたが、諸費用の減少などから、営業利益は54百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ9百万円(21.4%)の増益となりました。

⑤その他の事業

一般労働者派遣業では積極的な営業活動により、地元自治体等から新たに業務を受注したことなどから増収となりました。

その他の事業全体では、外部顧客に対する営業収益は1,039百万円と前年同四半期連結累計期間に比べて18百万円(1.8%)の増収となりましたが、営業利益は69百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ46百万円(40.3%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて504百万円減少し、97,931百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べて431百万円増加し、41,955百万円となり、自己資本比率は41.8%となりました。

増減の主な内訳は、資産の部では現金及び預金が3,141百万円、建物及び構築物が1,054百万円、それぞれ減少し、分譲土地建物が1,416百万円、建設仮勘定が1,264百万円、それぞれ増加しております。負債の部では短期借入金が1,446百万円増加し、未払法人税等が773百万円、長期借入金が1,332百万円、それぞれ減少しております。純資産の部では、利益剰余金が122百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までの業績及び今後の見通しを勘案し、2020年11月6日に公表しました業績予想を変更いたしております。

通期の業績予想につきましては、営業収益は43,114百万円と前連結会計年度に比べ8,518百万円(16.5%)の減収となり、営業利益は563百万円と前連結会計年度に比べ3,582百万円(86.4%)の減益、経常利益は710百万円と前連結会計年度に比べ3,498百万円(83.1%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は251百万円と前連結会計年度に比べ2,627百万円(91.3%)の減益を見込んでおります。

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,116	5,975
受取手形及び売掛金	2,288	2,742
有価証券	701	700
商品及び製品	1,120	1,228
分譲土地建物	4,596	6,013
その他	925	1,686
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	18,745	18,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,502	34,447
機械装置及び運搬具(純額)	9,782	9,510
土地	22,123	22,131
建設仮勘定	1,581	2,846
その他(純額)	1,045	927
有形固定資産合計	70,035	69,863
無形固定資産		
無形固定資産	408	370
投資その他の資産		
投資有価証券	4,828	5,338
長期貸付金	61	56
退職給付に係る資産	2,361	2,322
繰延税金資産	678	426
その他	1,332	1,225
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	9,247	9,354
固定資産合計	79,690	79,588
資産合計	98,435	97,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,534	5,401
短期借入金	6,183	7,630
未払法人税等	809	36
賞与引当金	592	453
商品券等使用引当金	229	244
役員賞与引当金	46	—
その他	8,054	8,154
流動負債合計	21,451	21,920
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	23,493	22,160
繰延税金負債	1	0
退職給付に係る負債	1,670	1,738
長期前受工事負担金	208	348
受入敷金保証金	3,686	3,464
その他	399	342
固定負債合計	35,459	34,055
負債合計	56,911	55,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,854	6,853
利益剰余金	22,480	22,602
自己株式	△173	△175
株主資本合計	39,251	39,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	692	1,114
退職給付に係る調整累計額	466	415
その他の包括利益累計額合計	1,158	1,530
非支配株主持分	1,113	1,053
純資産合計	41,524	41,955
負債純資産合計	98,435	97,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	37,080	30,380
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	29,557	26,262
販売費及び一般管理費	4,016	3,588
営業費合計	33,574	29,851
営業利益	3,505	528
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	151	154
持分法による投資利益	1	2
雇用調整助成金	—	140
雑収入	214	224
営業外収益合計	370	523
営業外費用		
支払利息	194	189
雑支出	92	111
営業外費用合計	286	301
経常利益	3,589	751
特別利益		
工事負担金等受入額	326	100
雇用調整助成金	—	29
固定資産売却益	13	—
特別利益合計	339	129
特別損失		
工事負担金等圧縮額	326	100
臨時休業等損失	—	94
投資有価証券評価損	—	33
固定資産除却損	8	12
特別損失合計	334	240
税金等調整前四半期純利益	3,594	639
法人税、住民税及び事業税	993	88
法人税等調整額	65	161
法人税等合計	1,058	250
四半期純利益	2,535	389
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	76	△66
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,458	455

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,535	389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	423
退職給付に係る調整額	△28	△45
その他の包括利益合計	199	377
四半期包括利益	2,735	766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,656	827
非支配株主に係る四半期包括利益	79	△60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書における「(追加情報) (新型コロナウイルス感染症の影響について)」に記載した内容について、重要な変更はありません。なお、同感染症による売上等への影響は翌連結会計年度以降も一定期間継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損等の会計上の見積もりを行っております。

しかしながら、この仮定は不確定要素が多く、当社グループの財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	その他の 事業	計		
営業収益								
(1)外部顧客に対する 営業収益	14,997	16,185	3,398	1,478	1,020	37,080	—	37,080
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	299	26	356	40	1,324	2,047	△2,047	—
計	15,297	16,212	3,754	1,518	2,345	39,127	△2,047	37,080
セグメント利益	1,717	221	1,379	45	116	3,480	25	3,505

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去25百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	その他の 事業	計		
営業収益								
(1)外部顧客に対する 営業収益	11,464	12,127	4,393	1,354	1,039	30,380	—	30,380
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	269	36	288	29	1,248	1,872	△1,872	—
計	11,733	12,163	4,681	1,384	2,287	32,252	△1,872	30,380
セグメント利益又は 損失(△)	△1,174	△127	1,671	54	69	494	34	528

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去34百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

株式会社山陽百貨店に対する公開買付けの開始について

当社は、2021年1月13日開催の取締役会において、株式会社東京証券取引所JASDAQスタンダード市場に上場している株式会社山陽百貨店（証券コード：8257、以下「対象者」といいます。）の普通株式を金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）による公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決議いたしました。

(1) 本公開買付けの目的

当社が対象者を完全子会社化することにより、当社グループ中期経営計画における基本戦略のうち、「非鉄道事業分野での収益基盤の着実な拡充」につながり、対象者を含めた当社グループの企業価値向上、事業基盤の強化を図るため。

(2) 対象者の概要

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 名称 | 株式会社山陽百貨店 |
| ② 所在地 | 兵庫県姫路市南町1番地 |
| ③ 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 高野 勝 |
| ④ 事業内容 | 百貨店業 |
| ⑤ 資本金 | 405百万円 |
| ⑥ 設立年月日 | 1952年2月1日 |

(3) 本公開買付けの概要

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ① 買付け等の期間 | 2021年1月14日（木）から2021年3月1日（月） |
| ② 買付け等の価格 | 普通株式1株につき、金2,630円 |
| ③ 買付予定の株券等の数 | |
| 買付予定数 | 384,746株 |
| 買付予定数の下限 | 117,384株 |
| 買付予定数の上限 | 一株 |

（注）本公開買付けに応じて売付け等の申込みがなされた株券等（以下「応募株券等」といいます。）の総数が買付予定数の下限に満たない場合は、応募株券等の全ての買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限以上の場合は、応募株券等の全ての買付け等を行います。

- | | |
|--------|----------|
| ④ 買付代金 | 1,011百万円 |
|--------|----------|

（注）買付代金は、買付予定数（384,746株）に、買付け等の価格（2,630円）を乗じた金額です。

- | | |
|----------|--------------|
| ⑤ 決済の開始日 | 2021年3月5日（金） |
|----------|--------------|